

循環器外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 中等度僧帽弁逆流を有する重症大動脈弁狭窄症に対する弁置換後の僧帽弁逆流残存因子の検討

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 秋田 弘俊

【研究責任者名・所属】 新宮 康栄（北海道大学病院循環器・呼吸器外科 講師）

【研究の目的】 中等度僧帽弁逆流を有する重症大動脈弁狭窄症に対する弁置換後に、僧帽弁逆流が残存する原因を検討すること。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

重症大動脈弁狭窄の患者さんで、2001年1月1日から2017年12月31日までに北海道大学病院循環器外科で手術治療を受けている方

○利用するカルテ情報

- ① 年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、心房細動有無、心不全の程度
- ② 心エコー検査結果：左室径、駆出率、左房径、僧帽弁閉鎖不全重症度、大動脈弁狭窄症重症度、三尖弁逆流重症度、肺動脈圧、大動脈弁圧較差
- ③ 手術情報：使用人工弁種類・サイズ、
- ④ 術後外来受診：術後生存・合併症・再入院の有無

【研究実施期間】 実施許可日～2020年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 循環器・呼吸器外科 担当医師 新宮 康栄

電話 011-706-6042 FAX 011-706-7612